2023年8月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

市原市農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供 【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定し、長期で安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：1）	3 （前年度末：3）
株式型	3 （前年度末：3）	5 （前年度末：5）
REIT型	2 （前年度末：2）	2 （前年度末：2）
バランス型	7 （前年度末：7）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

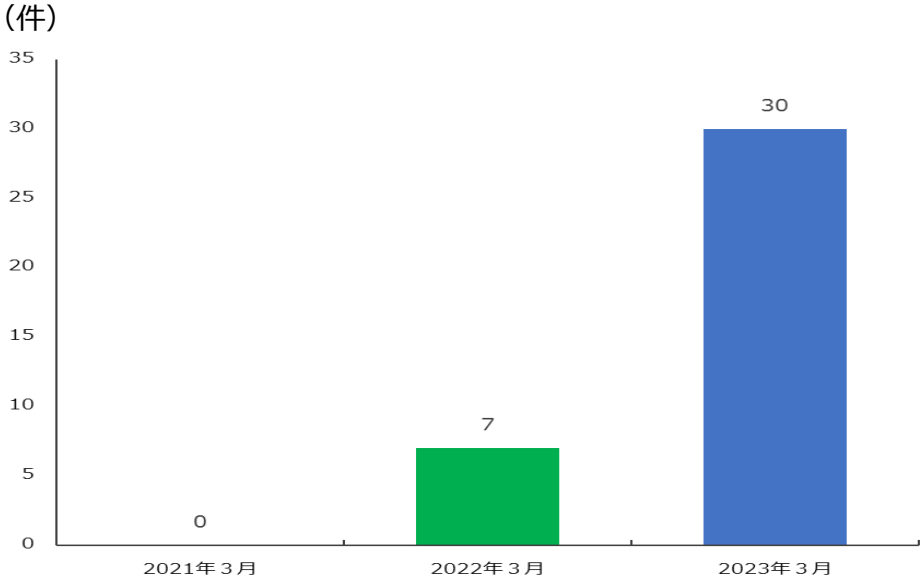
1、長期投資を前提とした投資信託である。
2、手数料が良心的な水準である。
3、過去の運用実績が相対的に良好である。
4、過度に分配金を捻出する投資信託でない。
5、運用体制について、外部機関の評価を得ている。
※お客さまの長期投資にとって、最善の提案を目指し、JAバンク独自の基準で長期投資に適した投資信託を選定いたしました。

※商品選定の考え方：JAバンクHP
https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/

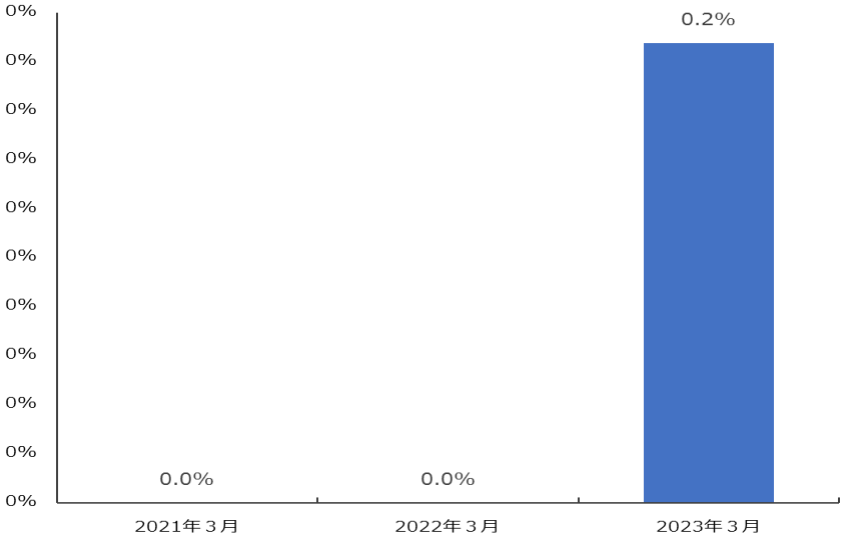
2　お客さま本位のご提案と情報提供①【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加いたしました。お客様のニーズや目的の中には「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまもいらっしゃいます。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 当組合は、お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について重要情報シート・販売用資料などを使用し分かりやすくご説明し、お客さまお一人おひとりに寄り添った、丁寧で分かり易い説明を行っております。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」
（金融事業者編）

1.当組合の基本情報　（当組合はお客様に金融商品の販売［又は販売仲介］をする者です）

組合名	市原市農業協同組合
登録番号	登録金融機関　関東財務局（取金）第３６１号
加入協会	ありません
当組合の概要を記したウェブサイト	https://www.ja-ichihara.or.jp

2.取扱商品　（当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

貯金（投資性なし）	○	貯金（投資性あり）	－
国内株式	－	外国株式	－
円建債券	○	外貨建債券	－
特殊な債券（仕組債等）	－	投資信託	○
ファンドラップ	－	ETF、ETN	－
REIT	－	その他の上場商品	－
保険（投資リスクなし）	－	保険（投資リスクあり）	－
これら以外の商品	－		

※他に共通を取扱っております。

3.商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

・JAバンクでは、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、お客さまにとっての選び外やすさも考慮し、一定の商品群に絞った「ＪＡバンク　セレクトファンド」をご用意しております。
・「ＪＡバンク　セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の厳選をもとに商品を選定しております。改正にあたっては外部有識者の知見を踏まえ検討しており、実現性ある商品の運用開始などのモニタリングを行っております。
①長期投資　社会の構えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること（いわゆるテーマ型ファンドではないこと）
②手数料　手数料が低い方に比率であること
③運用実績　過去の運用実績が相対的に良好であること
④将来性　これから将来に向けて高度を築いていく資産形成に向けては、通常に外部委託相手を投資信託ではないこと
⑤運用体制　運用体制について、外部機関の評価を得ていること
・上記の考えについては、ホームページにも掲載しております。
https://www.jatank.org/sp/tamaru/tousisintaku/select/

・なお、投資に関する好みについては、ＪＡバンクには、顧客組合員・利用者の皆さまのリスク許容度（※１）を確認し、リスク許容度に沿った投資商品をご案内しております。
※１リスク許容度とは、どの位の損失まを許容できるかを事前に設定するものです。ＪＡバンクでは、リスク許容度を４分類し、それぞれのリスク許容に沿った投資商品をご用意しております。

4.苦情・相談窓口

当組合お客様相談窓口	0436-23-6535
加入協会共通の相談窓口	ありません
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811（03-5251-6811）

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」
（個別商品編）

1．商品等の内容（当組合は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ＪＡ日本株券ファンド
組成会社（運用会社）	野村中金共通アセットマネジメント株式会社
販売委託元	野村中金共通アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の公社債等を非投資対象とし、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰ［総合］中長期的に上回る成果を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入者	中長期での資産形成を目的とし、中長期の元本毀れリスクを敢く抑えたい方
パッケージ化の有無	パッケージ商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

（説明例）
① あなたの組合が販売する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという理由は何か。
② この商品を購入した後、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
③ この商品が投資の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2．リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	「金利変動リスク」：運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 「信用リスク」：投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。
（参考）過去１年間の収益率	▲3.4%（2023年２月末基準）
（参考）過去５年間の収益率	平均：▲0.6%、最低：▲5.4%（2022年12月）、最高：4.4%（2019年８月） （※2018年３月～2023年２月の各月末における直近１年間の数字）

損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク（参考情報）」および「運用実績」に記載しています。
（説明例）
④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
⑤ 相対的にリスクが低い商品はあるのか、あればその商品について説明してほしい。

3．費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生いたします）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	対面：　0.22%以内（税込）	ネット：0.22%以内（税込）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	信託報酬率は、年0.22%（税込）です。また、その他費用・事務料等が受益でファンドから支払われます。これらは運用状況による変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。	
売買成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。	

上記以外に生じる費用を含めて詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。
（説明例）
⑥ 私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用がより安い類似商品はあるか、あればその商品について説明してほしい。

4．換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の解約期限はありません。但し、残上信託の場合があります。
この商品に換金時手数料はありませんが、換金した際に発生する税額(券売買コスト等、地方投資者への配当を抑える目的で徴税財産保管（0.05%）を換金時にご負担いただきます。
金融商品取引所等における取引の停止等により、換金の申込みの受付を中止することと、および既に受け付けた換金の申込みの受付を取り消すことがあります。また、信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の換金には制限を設ける場合があります。

詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。
（説明例）
⑧ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5．当組合の利益とお客様の利益が反する可能性

当組合がお客様にこの商品を提供した場合、ＪＡグループは、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、運営会社等から収取分の純収益相当分に対し原資0.11%（税抜0.10%）を引き取り計算した金額の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種媒体の通知、口座内でのファンド管理、投信載入後の情報提供などの対価です。
野村中金共通アセットマネジメント株式会社はＪＡグループの運用会社となっております。
当組合の収益実績に対する意見評価上、この商品の販売が他の商品の販売より安く評価されるような場合はありません。

※ 報酬額の内訳とその根拠については、当組合のホームページでお知らせします。
（URL：）https://www.ja-ichihara.or.jp/files/kbs/2094/20211223084435208O.pdf
（説明例）
⑨ あなたの組合が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの組合やあなたの利益を優先した商品を私に勧めていないか。私の利益よりあなたの組合やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの組合では、どのような対策をとっているのか。

6．税務の概要（NISA、つみたて NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

・分配時、所得税及び地方税が、配当所得として課税されます（最高分配金に対して 20.315%）
・換金（解約）時及び償還時、所得税及び地方税が、譲渡所得として課税されます（換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%）

・この商品のNISA、つみたて NISA、iDeCo の取扱いは以下のとおりです。

NISA	○	つみたて NISA	×	iDeCo	×

詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7．その他参考情報（契約にあたっては、次の両面をよくご覧ください）

・販売会社（当組合）が作成した「契約締結前交付書面」
（URL）－
（QR コード）－
・組成会社が作成した「目論見書」
（URL）－
（QR コード）－

本シートをお渡ししている段階で、契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「交付目論見書」をお渡ししていない場合、ご希望に応じて紙でお渡しします。
本シートに記載される情報内容は２０２３年４月２０日時点でのものであり、その後の変更等が反映されていないことがあります。最新の情報内容は、別途お渡しする投資信託説明書（交付目論見書）をぜひご確認ください。

J_2531200C_4949（23.04）

3　利益相反の適切な管理 【原則３本文および（注）】

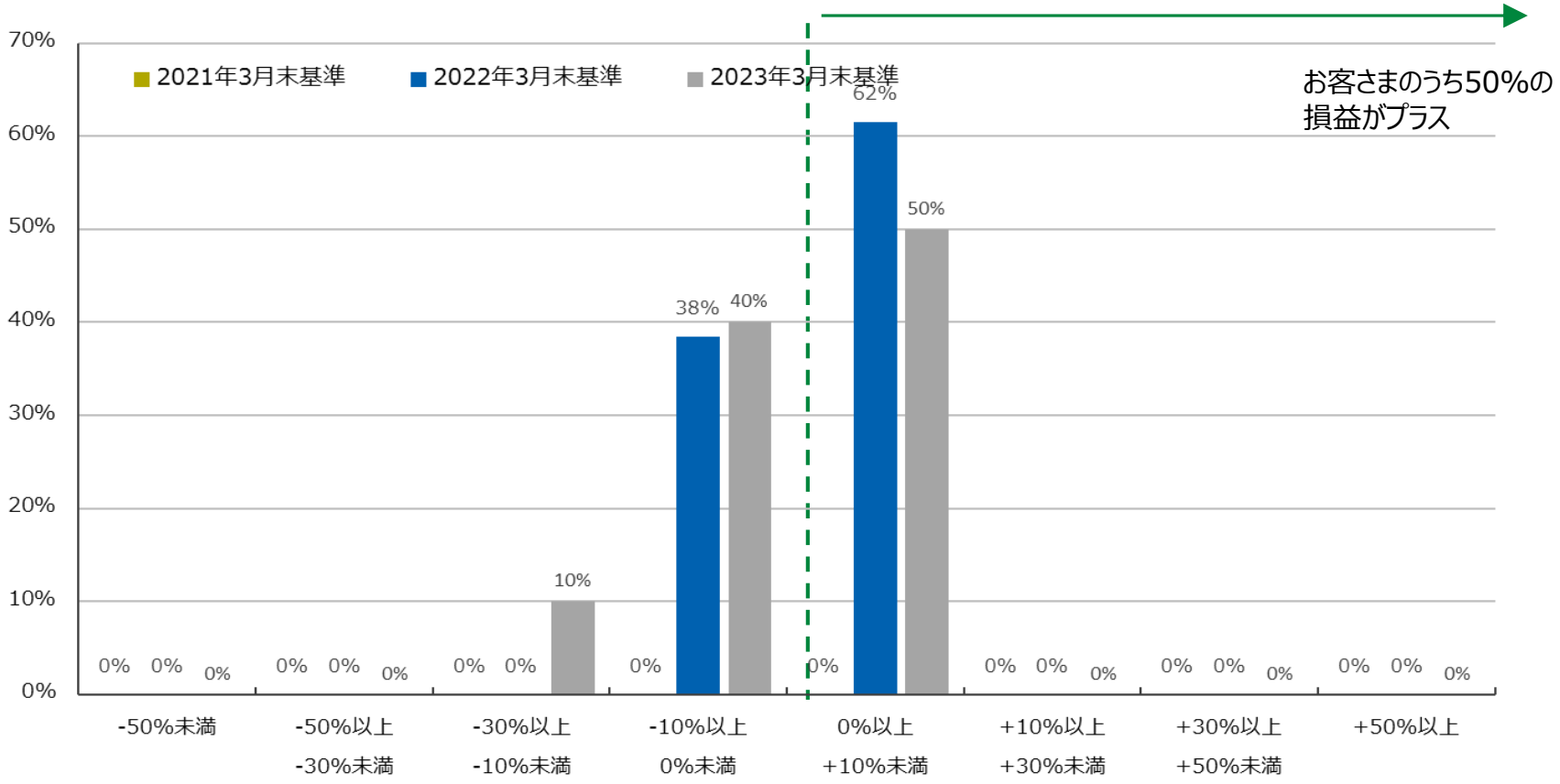
- お客さまへの商品の選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないよう、「利益相反管理方針」に基づき、利益相反について総括する部署を設置し、一元的に対応する体制を整備するなど、お客さまの保護と正当な利益確保に努め適切な管理を行っております。
- 利益相反の発生する可能性がある取引につきましては、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理を行うとともに、定期的なモニタリング等により適切に管理しております。

4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則７本文および（注）】

- 当組合では、計画的・総合的な研修体制を構築し、職員の果たすべき役割・心構えを持った専門性の高い職員の育成に取り組むとともに、お客さまの多様なニーズに対応するため、定期的な勉強会を開催し、知識の向上に努めております。

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

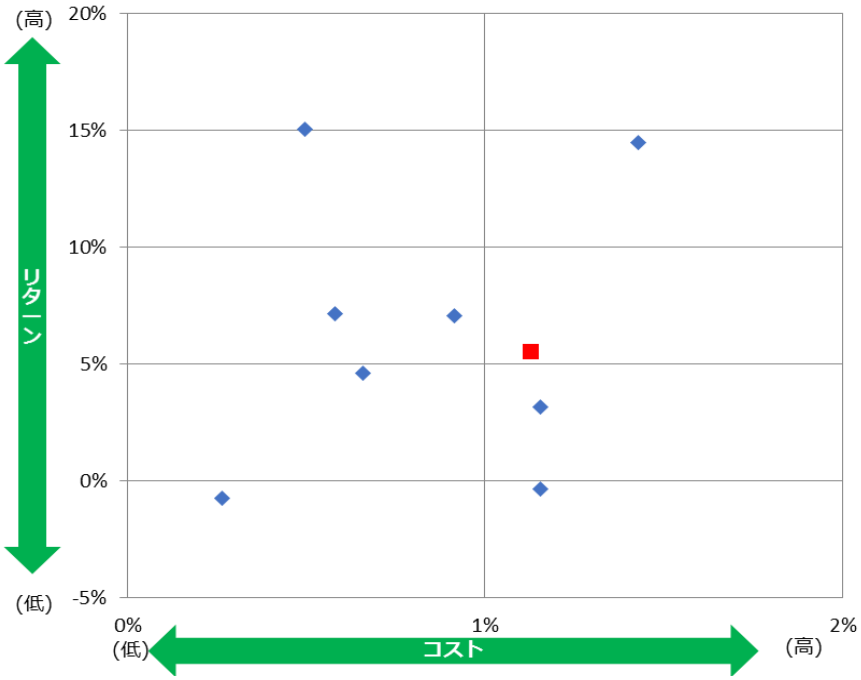
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資や、つみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の50%のお客さまの損益がプラスとなりました。



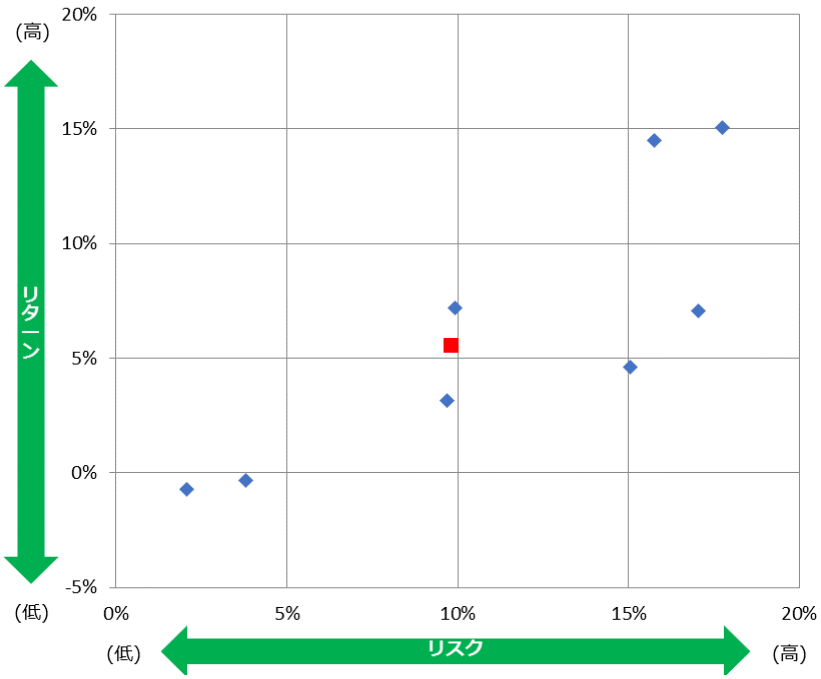
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）　（2023年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク9.8%に対して、平均リターンは5.54%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

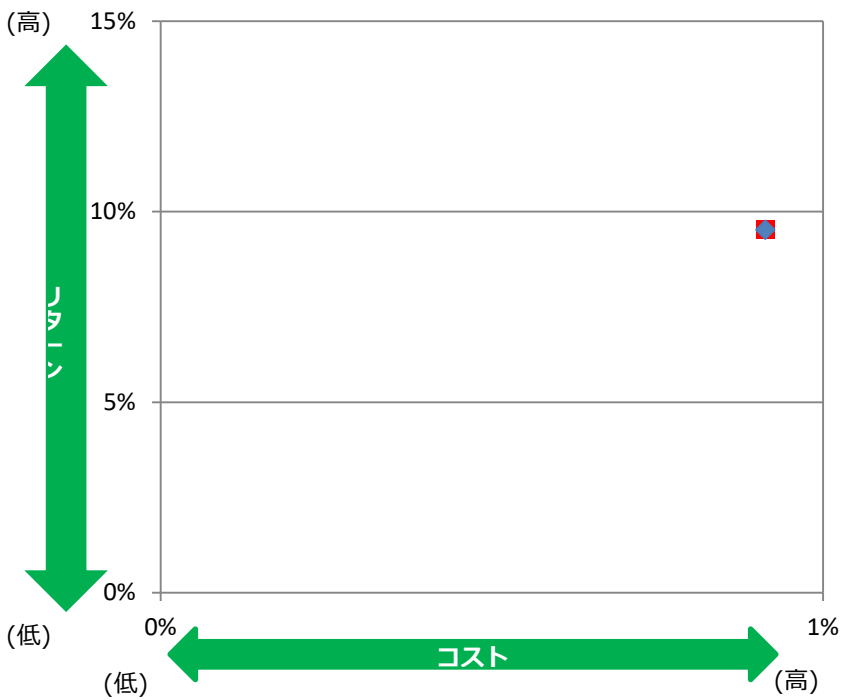


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

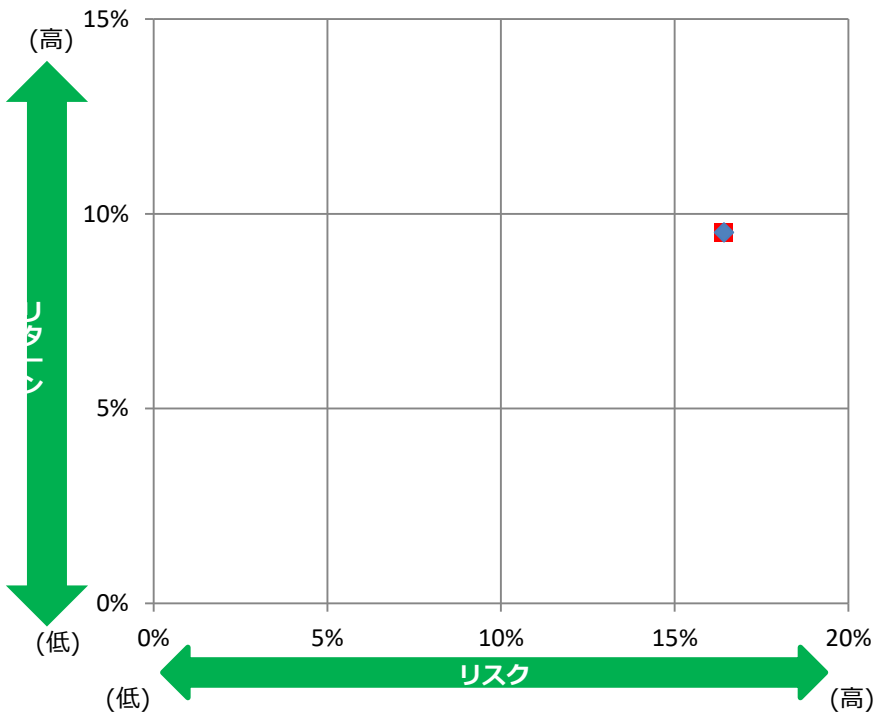
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）　（2022年３月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク16.42%に対して、平均リターンは9.53%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）　（2023年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
2	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
3	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
4	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
5	ＪＡ日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.72%	2.06%	0.26%
6	つみたてＮＩＳＡ米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
8	Ｊ－ＲＥＩＴインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.62%	15.04%	0.66%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		5.54%	9.80%	1.13%

※ 2023年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は8本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

２　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）　（2022年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.53%	16.42%	0.91%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		9.53%	16.42%	0.91%

※ 2022年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。